

白鳳系・中生ネクタリン収穫出荷講習会

令和6年7月18日～
JAグリーン長野営農販売部

1. 生育状況

- 1) 満開期以降、高温が続き、梅雨に入り降雨があるため、生育が前進している。
春先から干ばつ⇒まとまった降雨が繰り返され、核割れが多く、除袋や成熟期が1樹の中でもバラツキが大きくなっている。このため、核割れ果等は、昨年並みの収穫となっている。
- 2) 玉肥大も、同様で、結実が非常によかったため、摘果作業の早晩で、よりバラツキがあり、一般的に小玉傾向となっている。
- 3) 果実肥大に捉われず、果実毎の適期収穫を心掛けたい。特に収穫始めに注意！！
- 4) 果実の品質は、今後天候に大きく左右される。
- 5) 除袋後防除・収穫前防除を徹底し、腐敗病防止を図る。
- 6) 反射マルチの効果が上がるよう、薬剤がしっかり掛るよう、適度な徒長枝の管理を行う。

2. 適期収穫の取組。朝取りが基本！過熟によるロスを減らす！

1) 熟し方	条件	早い	⇒	遅い
	樹勢	弱い樹	⇒	強い樹
	樹体	上部	⇒	下部
		外側	⇒	内側
	枝	先端	⇒	基部
	気象	曇天降雨	⇒	高温乾燥

2) 適期タイミングの判断

- ①果柄部の地色：白鳳 … 系統が色々あるが、地色が緑白色になったもの。
あかつき … 地色が乳白色になったもの。
川中島白鳳 … 地色が乳白色になったもの。着色先行型のため若採り注意。
なつっこ … 〃
滝の沢ゴールド（早生黄金桃） … 果肉硬度を確かめて収穫する。
水野ネクタリン、フレーバートップ … 〃
- ②硬さ：果実硬度計指度・・・2.0～2.5 kgが収穫適期)

3) 収穫の仕方・・・収穫の際の皮むけに注意。

- ①樹の上・外の大玉なものから。特に変形果（核割れ）は熟期が早いので注意する。
本格的な収穫は開始から3日目あたりからピークとなり、8日間位で終了が望ましい。
- ②収穫最盛期は、玉の大きさによる熟しの差がなくなる。
- ③収穫の時間は、鮮度保持のため、果実温度が低い早朝に行う。
果実の温度が高いと、収穫してから柔らかくなるのが早まる。
- ④収穫カゴに入れすぎ、下側の果実の打撲をさせないように注意する。
- ⑤収穫用コンテナをキレイにしておく。ウレタンを濡れたままにしておくと、腐れを助長するので乾かしておく。劣化しウレタンの粉が果実に付くのは異物混入になる。

3. 腐敗病・スリップスの予防

灰星病・ホモプシス腐敗病・ミカンキイロアザミウマの被害果を出したら、贈答や市場の信用がガタ落ちしてしまう。薬剤防除の徹底をし、被害を出さないようにする！

1) 薬剤防除

「除袋後防除」・「収穫2日前防除」の徹底・必ず行うこと。※情報参照

2) その他

- ①特に曇天雨が続く場合は丁寧に散布を行う。

- ②薬剤が掛かるように、樹の風通しが良いようにしておく。
- ③腐敗病は、発見したら被害を拡大させないために必ず除去し土中に埋める。
撤去時も孢子を飛ばさないように、ビニール袋などを使用し除去する。

4. 着色管理等(直射日光では近年日焼けの発生が多発！反射光で)

- 1) 新梢管理：日光が当たらない、薬液が通らない部位は、摘心・切除処理をする。
- 2) 土壌管理：降雨後の排水に留意する。
高温・干ばつが続く場合は収穫中でも、夕方10a 当り5mm程度の軽く散水を行う。
※やりすぎは糖度低下になる！
- 3) 葉摘み：葉陰の跡は、等級落ちになるが、こうあ部(ホゾ)周辺の葉跡は気にならない。
果実にくっ付いている葉を中心取る。
やりすぎは、日焼けの助長・着色・糖度・日持ち等の品質に悪影響を及ぼすので注意する。特に高温強日射になると日焼けになる。
- 4) 反射シート：十分な着色を得られたら撤去する。引きっぱなしはみつ症の発生を助長する。
シルバーマルチは園が暑くなり、果実の玉肥大への影響と軟化を助長し、みつ症の発生につながるため使用を控える。「タイベック」か「白系のマルチ」を推奨。
- 5) 草生栽培：草を伸ばして余分な水分を吸わせ糖度の低下を抑える。収穫時は作業の為短くする。
タイベックの下は草が伸びるので、敷く前に刈り取る。
土が固くなる通路などは草丈を伸ばし、土を柔らかくするようにする。

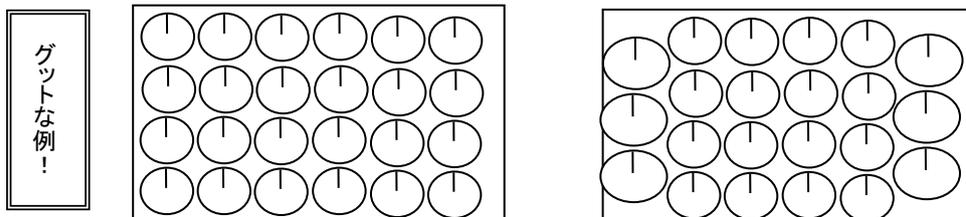
5. 出荷基準・荷受

1) もも・ネクタリン出荷基準

基準に従って予備選果を行い、生果・直売用・ネクターにしっかりと分けし、手取り向上・選果効率アップに繋げる。

2) 注意点

- ①収穫コンテナに『もも』を入れる際には、整然と縫合線の向きを揃えていただければ、選果効率アップ！⇒時間短縮⇒経費削減に僅かでもつながりますので、できる範囲でご協力を。



- ②キツキツ、ユルユルに入れると、『もも』の側面が打撲になっているので、気を付けましょう。
- ③コンテナには必ずウレタンを敷きましょう。新聞紙、薄くなったウレタンでは、こうあ部(ホゾ側)が打撲になっている事があります。また汚れたウレタンはキレイなものに変えましょう。
- ④出荷伝票の表記にハンコを使用している方は、雨や朝露で濡れていると、インクがにじんで、『もも』にインクが付着してしまう場合があります。雨の日は、透明ビニール袋に入れるかボールペン記入に変えて下さい。
- ⑤出荷の際は、実物と伝票の箱数が一致しているか、品種と箱数をもう一度確認しましょう。
- ⑥品種名は正確に記入して下さい。

(例：実際の品種は「川中島白鳳」だが ⇒伝票に「白鳳」と記入するのは×です！別品種です。)

- ⑦異品種混入がありますので、注意しましょう。

(例：川中島白桃と黄金桃が混じっている。異品種が混じっている)

3) 荷受・荷受日時

- ①各選果場(部会支部)の指示に従う。
- ②荷受休みの変更や品種の荷受け止めの際は、集荷所にハリガミをしますのでご覧下さい。